



有限会社ダイキ開発

2018年度 環境活動レポート

(対象期間:2018年 9月～2019年 8月)



発行日: 2019年 10月 1日

I. ごあいさつ

有限会社ダイキ開発は、平成4年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。ますます深刻化する地球温暖化や地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組みます。

環境方針

当社は、土木工事、石工事、ほ装工事、塗装工事、解体工事、とび・土工工事、鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、測量業の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油)
3. 一般廃棄物の削減に努めます。
4. 産業廃棄物の分別、リサイクルの推進に取り組みます。
5. 水道使用量の削減、節約に取り組みます。
6. グリーン購入を推進します。
7. 環境に配慮した施工技術を提案します。
8. 地域における環境活動への積極的な参加を推進します。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2015年5月25日

改定日： 2018年10月10日

代表取締役 大谷 みゆき

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社ダイキ開発
代表取締役 大谷 みゆき

(2) 所在地

本 社 〒671-2573 兵庫県宍粟市山崎町今宿234番地

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 高瀬 正樹
担当者 久保 郁子

連絡先 TEL : 0790-63-0657
FAX : 0790-62-2046
E-Mail : daikikaihatsu@cotton.ocn.ne.jp
HP : <http://daikikaihatu.wp.xdomain.jp/>

(4) 事業内容

土木工事業、石工事業、ほ装工事業、塗装工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業、測量業

許可番号 兵庫県知事 許可(特-27) 第502152号
許可年月日 平成28年 1月20日

測量業
登録 第(6)-21273

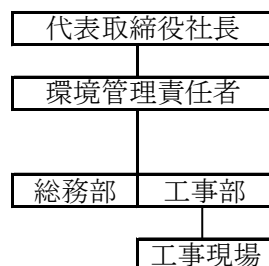
(5) 事業の規模

設立 平成 4年11月20日
資本金 4千万円
売上高 5億5千万円

事業所の規模

本社	従業員	17名
	延べ床面積	143㎡

(6) 組織



(7) 事業年度

9月～翌年8月

III. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 有限会社ダイキ開発
対象事業所: 本社
活 動: 土木工事業、石工事業、ほ装工事業、塗装工事業、解体工事業
とび・土工工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道工事業、測量業

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年度 基準年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	35,592	24,554	27,059	27,945	24,426
電力	kWh	5,286	4,445	4,354	4,286	4,605
ガソリン	L	13,723	9,367	10,198	10,476	9,014
軽油	L	371	186	423	528	417
廃棄物排出量						
一般廃棄物	トン	実績不明	0.24	0.23	0.22	0.22
産業廃棄物	トン	194	209	1,803	2,289	1,107
総排水量	m ³	13	11	11	10	12

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、平成25年度関西電力公表の 0.522kg-CO₂/kWh を使用

V. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年度		2013年度 基準年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	35,592	34,524	34,168	33,812	33,456
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%
電力使用量削減	kWh	5,286	5,127	5,075	5,022	4,969
	kg-CO ₂	2,759	2,677	2,649	2,621	2,594
ガソリン 使用量削減	L	13,723	13,311	13,174	13,037	12,900
	kg-CO ₂	31,860	30,904	30,586	30,267	29,949
軽油 使用量削減	L	371	360	356	352	349
	kg-CO ₂	974	944	935	925	915
II. 廃棄物の削減						
	一般廃棄物 削減	t	実績不明	0.24	0.23	0.23
産業廃棄物 リサイクル率の向上		98.96%	98.96%	98.96%	98.96%	98.96%
①産廃総排出量	t	194	-	-	-	-
②再資源化量	t	192	-	-	-	-
III. 水使用量 削減	m ³	13	13	12	12	12
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%
IV. グリーン購入						
①文房具類の購入	品目	実績不明	2	3	4	4
②循環資源の利用	t	実績不明	-	-	-	-
V. 環境配慮工法 の提案	件	実績不明	5000万円以上の工 事に1件以上	5000万円以上の工事 に1件以上	5000万円以上の工事 に1件以上	5000万円以上の工事 に1件以上
	対基準					

(2) 2018年度実績

年度 項目		取り組み期間における実績				
		2013年度	2018年度('18年9月～'19年8月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	35,592	34,168	24,426	140%	○
	対基準		△4%			
電力使用量削減	kWh	5,286	5,075	4,605	110%	○
	kg-CO ₂	2,759	2,649	2,404		
	対基準		△4%			
ガソリン 使用量削減	L	13,723	13,174	9,014	146%	○
	kg-CO ₂	31,860	30,586	20,927		
	対基準		△4%			
軽油 使用量削減	L	371	356	417	85%	×
	kg-CO ₂	974	935	1,094		
	対基準		△4%			
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	t	2015年実績 0.24	0.23	0.22	106%	○
	対基準					
産業廃棄物 リサイクル率向上	%	98.96%	98.96%	99.73%	101%	○
	対基準					
①産廃総排出量	t	194.0	-	1107	-	-
②再資源化量	t	192.0	-	1104	-	-
III. 水使用量 削減	m ³	13	12	12	104%	○
	対基準		△4%			
IV. グリーン購入						
①文房具類の購入	品目	実績不明	3品目	6品目	200%	○
	対基準					
②循環資源の利用	t	実績不明	-	-	-	-
V. 環境配慮工法 の提案	件	実績不明	4件	4/4件	100%	○
	対基準					

注2) リサイクル率 = (②/①) × 100%

リサイクル率の目標は当面年度基準値を維持する。

注3) 循環資源(再生砕石、再生製品)は目標設定せず、実績を正確にフォローする。

注4) 環境配慮工法の提案(工事1件(5千万円以上)につき1件の提案)

例 1.緑化 2.汚濁防止 等

注5) 評価欄にて、○:達成、△:やや未達成、×:未達成

注6) 化学物質は、当社では増減できない。

客のニーズに合わせて増減するので実績を正確にフォローする。

VI. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
I. 二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化	◎	冷暖房の温度調節を目標温度にするよう意識した。
・サーキュレーターの設定	◎	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。 次年度も、左記取組を継続する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
・エコカーへの乗り換え	◎	燃費がよくなり、ガソリン使用量の削減につながった。 次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・重機の空ふかしの禁止	○	重機に無駄な負荷をかける作業は控え、空ふかしの禁止の呼びかけをした。
・アイドリングストップ	○	エコドライブを心がける。
・空気圧、オイル等の点検	○	定期的な点検の実施。 次年度も、左記取組を継続する。
II. 廃棄物の削減		
(下記の通り)		(下記の通り)
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・ミスコピーの防止	○	資料の電子化により紙類削減を心がけた
・分別の徹底	○	分別強化をよびかけ、再資源率の向上を目標とする
・コピー用紙の裏紙利用	○	裏紙をメモに利用している
		今後、確な排出量を把握しながら、削減に努める。 次年度も、左記取組を継続する。
産業廃棄物のリサイクル率向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	現場での産業廃棄物は、再資源化率を上げることを目標とす
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。
・仮設資材の再利用の推進	○	再利用できるものは、再利用している。 次年度も、左記取組を継続する。
III. 水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	◎	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
IV. グリーン購入の推進 (目標達成)		
①事務用品の購入	◎	事務用品をグリーン購入法適合商品の購入に心がけた 今後も積極的に取り組みたい。
②循環資源の活用推進	○	実績値を正確にフォローする。 次年度も、左記取組を継続する。
V. 環境配慮工法の提案 (目標達成)		
・5千万円以上の工事1件につき1提案以上を目標とする	○	今後は新技術を積極的に取り入れます。 次年度も、左記取組を継続する。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識できるようになる為、エコアクション21に取り組んで来ました。取り組み開始より、少しずつではありますが、活動の重要性に対する理解が深まり、徐々に成果をあげることができているようです。
事務所内の電球をLEDに替えるなどの取り組みもあり、電力使用量を大きく削減できた要因のひとつだと考えられます。

3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着してきているので、引き続き啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

今後も環境方針に基づき、目標達成に向けて全社員で取り組んでいきたいと思っています。

代表取締役 大谷 みゆき